



科学する心

東京医科歯科大学と東京工業大学というそれぞれの分野のトップの国立大学が統合し、東京科学大学が誕生しました。医学と工学が連携して研究し、世界に通用する新発見や新発明が生まれることが期待されています。この塾の卒業生であり、今は講師をしていている先生がそれぞれの大学に通っていますが、二人が顔を合わせた時に統合にまつわるドタバタを話していました。東京医科歯科大学では新しい大学名の看板が間に合わない箇所がいくつもあるようです。東京工業大学では新しい学生証に埋め込むICチップが間に合わなくて図書館への入退出には古い学生証を使っているそうです。

さて定時制高校の科学部を舞台にした「宙わたる教室」というドラマがNHKで放映されていました。もとは地学の優秀な研究者がなぜか定時制高校の理科教師として赴任し、多様な問題を抱えていて年齢も性別も異なる生徒たちに一人ずつ呼びかけて科学部を誕生させます。“火星を作ろう”を合言葉に、火星だけにあるクレーターを教室で再現することに取り組む姿を描いています。生徒の一人が「生まれて初めて真剣になったんだ。力を貸して欲しい。」と全日制の生徒に頼む場面では熱い気持ちが伝わってきました。

今はネットにも科学実験の様子がたくさんアップされていますが、早回しの画像をスマホで見ているだけでは「おもしろいな」で終わってしまいます。手を動かし、失敗しながら時間をかけて、はじめて科学する心が育つのだと思います。だから学校の理科授業での実験の機会を大切にしてください。中高を卒業してからは理系の大学に進まない限りそんな経験はめったにできません。もちろん文系でも社会科学という分野などで仮説と検証を重視するのは当たり前です。科学する心とは、好奇心の羽を広げつつ物事を冷静に受け止め体系化して発展させていくものです。それは理系か文系かに関わらず、前向きに生きていくために必要な心ではないでしょうか。

恒例となった「おもしろ理科実験～クリスマスバージョン」も楽しみにしててください。